

夏季オープンキャンパス 地域創造学環 入試案内

令和3年8月1日

地域創造学環入試広報委員会

お話の内容

1. 求める学生像と3種類の入試

2. 各入試の説明

3. 志願倍率と入試区分ごとの重視項目

4. よくある質問 (Q&A)

1.1 求める学生像 (アドミッション・ポリシー)

1. 高等学校において幅広い教科・科目を修得している。(教科学力)
2. 大学において教養と専門的知識を身につけるための基礎となる日本語運用能力を有している。(文章読解力、文章表現力、聴取力、語彙力)
3. 知識や情報、経験をもとに様々な問題・課題につき筋道を立てて考え判断することができる。(論理的思考力、分析力、判断力、考察力)
4. いろいろなことを学び身につけ自分の能力を高めることにより、地域社会の担い手として成長したいという意欲を有している。
5. 学校での課外活動や地域でのボランティア活動等を通じて、他者とのコミュニケーションをとりながら、グループで活動して課題に取り組んだ経験が豊富にある。
6. アートの分野において創造力と表現力を有している。
7. 一定のスポーツ歴ないしは基礎的・複合的運動能力を有している。

入学者選抜では、入試区分ごとに、上記のうちの複数の項目を重視した試験を実施することにより、多様な人材の選抜を行います。

1.2 3種類の入試と7つの区分

■ 共通テストを課さない学校推薦型選抜 I (11月27日)

- 選抜方法 A (文理融合系) 募集10名
- 選抜方法 B (アート系) 募集5名
- 選抜方法 C (スポーツ系) 募集5名

■ 一般選抜・前期日程 (2月25日)

- 選抜方法 A (文理融合系) 募集15名
- 選抜方法 B (アート系) 募集5名
- 選抜方法 C (スポーツ系) 募集5名

■ 一般選抜・後期日程 (3月12日)

- (学環全体) 募集5名

どの入試で合格しても、入学後、1年生後学期から自由にコースを選択できます。



2.1 共通テストを課さない学校推薦型選抜Ⅰ

■ 募集人員

- 選抜方法 A (文理融合系) 10名
- 選抜方法 B (アート系) 5名
- 選抜方法 C (スポーツ系) 5名

■ 出願要件

- **令和4年3月高等学校卒業見込みの人**。次の各項目に該当し、学力・人物が優れ、志願する学環への能力・適性等について、学校長が責任を持って推薦できる人。

1 高等学校における学習成績概評が **A段階以上**の人。

ただし、**選抜方法 B (アート系)**については、**この限りではありません**。

また、**選抜方法 C (スポーツ系)**については、**各校1名に限り**、高等学校における調査書の全体の学習成績の状況が**4.0以上4.3未満**の人の出願を認めます。(推薦できる人員の内数として扱います)

2 地域社会の様々な課題に興味・関心のある人

■ 推薦できる人員

- 高等学校1校につき**選抜方法ごとに2名以内**

■ 選抜方法

- **小論文**と**面接** (面接の形式・内容は選抜方法によって異なります)

👉 9月上旬発表予定
「令和4年度学校推薦型選抜
学生募集要項」
<https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/guide/index.html>

学校推薦型選抜Ⅰ 選抜方法ごとの出願書類

■ 選抜方法 A・B・C 「学びの計画書」

■ 選抜方法 A 「活動報告書」

■ 選抜方法 B 「自作証明書」

■ 選抜方法 C 「運動歴調査書」



👉 様式ダウンロード

<https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/guide/index.html#a06>
必ず令和4年度入試用の様式を使用してください

2.2 一般選抜・前期日程

👉 10月下旬発表予定
「令和4年度一般選抜
(前期・後期日程) 学生募集要項」
[https://www.shizuoka.ac.jp/
nyushi/guide/index.html](https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/guide/index.html)

■ 募集人員

- 選抜方法 A (15名)
- 選抜方法 B (5名)
- 選抜方法 C (5名)

■ 教科・科目等

● 選抜方法 A (文理融合系)

- ・ 共通テスト 6(5)教科7科目 (国語・数学①・数学②・外国語・理社3)
- ・ 個別学力検査 2教科選択 (国語・数学・英語・理科 [物理・化学・生物・地学から1])
※英語と理科の組み合わせは選択できません

● 選抜方法 B (アート系)

- ・ 共通テスト 3教科3科目 (国語・外国語・ [数学・理科・地理歴史・公民から1])
- ・ 個別学力検査 小論文・実技 (美術) : 与えられたモチーフを自由に構成しデッサンする

● 選抜方法 C (スポーツ系)

- ・ 共通テスト 3教科3科目 (国語・外国語・ [数学・理科・地理歴史・公民から1])
- ・ 個別学力検査 小論文、実技 (体育) : 基礎的かつ複合的な運動能力についての検査

2.3 一般選抜・後期日程

■ 募集人員

- 学環全体 5名

■ 教科・科目等

- 共通テスト 6(5)教科7科目 (国語・数学①・数学②・外国語・理社3)
- 個別学力検査 小論文・面接

👉 10月下旬発表予定
「令和4年度一般選抜
(前期・後期日程) 学生募集要項」
[https://www.shizuoka.ac.jp/
nyushi/guide/index.html](https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/guide/index.html)



3.1 昨年度の志願倍率

■ 共通テストを課さない学校推薦型選抜 I

- 選抜方法 A (文理融合系/10名) **3.0倍**
- 選抜方法 B (アート系/5名) **1.0倍**
- 選抜方法 C (スポーツ系/5名) **3.4倍**

■ 一般選抜・前期日程

- 選抜方法 A (文理融合系/15名) **1.9倍**
- 選抜方法 B (アート系/5名) **2.4倍**
- 選抜方法 C (スポーツ系/5名) **11.4倍**

■ 一般選抜・後期日程

- (定員5名) **14.6倍 (実質3.8倍)**

受験者の男女別・高校種別・卒業年別・都道府県別の詳細や合格者試験成績の最高点・最低点・平均点なども掲載されています！

出典『令和3年度 入学試験に関する調査資料』
<https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/information/pdf/r03chousa.pdf>

3.2 入試区分ごとの重視項目

入試区分	選抜方法区分	試験内容	知識・技能			思考力・判断力・表現力			主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	
			教科学力	アート分野における創造力・表現力	スポーツ分野における活動歴ないしは運動能力	思考力・判断力	日本語運用能力	主体性・意欲	協働経験	
学校推薦型選抜 I	選抜方法 A	小論文				◎	◎	○		
		面接				◎	○	◎	○	
		※出願要件	◎							
	選抜方法 B	小論文				◎	◎	○		
		面接		◎		◎	○	◎	○	
	選抜方法 C	小論文				◎	◎	○		
面接				◎	◎	○	◎	○		
※出願要件		◎								
一般選抜 (前期日程)	選抜方法 A	大学入試共通テスト	◎			○				
		個別学力調査	◎			○				
	選抜方法 B	大学入試共通テスト	◎			○				
		小論文				○	○	◎	◎	
	実技 (アート系)		◎							
	選抜方法 C	大学入試共通テスト	◎			○				
小論文					○	○	◎	◎		
実技 (スポーツ系)			◎							
一般選抜 (後期日程)		大学入試共通テスト	◎			○				
		小論文				◎	◎			
		面接				◎	○	○		

4 地域創造学環入試 よくある質問 (Q&A)

- Q. 学校推薦型選抜 I の出願書類のうちの「学びの計画書」「活動報告書」「運動歴調査書」は点数化されるのか。また、全国規模の大会とそれ以下の規模の大会とで、出場経験の評価にどれくらい差がでるのか？
- A. 「学びの計画書」「活動報告書」「運動歴調査書」等は総合的な判定の基礎資料として用いるものであり、**それ自体のみを評価するものではありません**。大会出場経験を単独で評価することはありません。
- Q. スポーツで頑張ってきた生徒が、選抜方法 C ではなく選抜方法 A で出願することは十分ありうる。その場合、活動報告書に運動歴を書くことになるがそれで良いか？
- A. それで構いません。
- Q. 選抜方法 B で美術・デザイン分野の作品 1 点又は 1 年以内に描いたデッサン 1 点とあるが、両方をまとめたファイル 1 冊でも良いか？
- A. いけません。「入学者選抜に関する要項」及び「学校推薦型選抜学生募集要項」に書かれているとおり、**どちらか 1 点**です。

■ Q. 過去の小論文の問題が知りたい！

- A. 一般選抜前期日程・後期日程の小論文の問題については、静岡大学学部入試のウェブサイトの「過去問題」から確認できます。特別選抜・学校推薦型選抜 I の小論文の問題については、ウェブでは公開していませんので、お問い合わせください。
<https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/information/index.kakomon.2021.html>
- Q. 入学後、入試区分に関わらず必ず希望のコースに入ることができるのか？人数制限や成績基準等はないのか？
- A. 地域創造学環の学生は、入学後、1 年次後学期（10月）から、希望のコースを必ず履修することができます。制限・基準等は一切ありません。なお、在学期間中に原則 1 回に限り、履修コースを変更することが認められる場合があります。

 その他のQ&Aはコチラ

https://www.srd.shizuoka.ac.jp/exam_qa/

皆様の志願をお待ちしております！



静岡大学

地域創造学環

SCHOOL OF REGIONAL DEVELOPMENT

